

みなぎの通信



県立吉川高等学校 学校だより
令和5年度 第6号
2023年5月24日（水）発行
【バラ】

花植え & 茶話会で地元老人会と和やかなひととき

1学期中間考査最終日、5月23日（火）の風薫る放課後、渡瀬老人会の11名に来校していただき、生徒との交流の場を持ちました。前半は花植え、後半は茶話会でした。

毎年恒例の花植えには各クラスの美化委員と有志、計17名の生徒が参加。5班に分かれ、老人会の方々のアドバイスを受けながら、ビニールポット一杯に根が回ったサルビア（赤花）とマリーゴールド（黄花）の苗をプランターに4株ずつ植え付けました。

最後は、草花80株を前景、ホトトギス鳴く里山を背景に、参加者全員が両手で花の形を作り笑顔で写真に納まりました。プランターは玄関や昇降口周辺に置かれ、10月中旬まで来校者や生徒を迎えることとなります。



今回初めて催した茶話会には、生徒会役員と茶華道部員、計18名の生徒が参加しました。

老人会の方々にはまず、茶華道部員が点（た）てたお抹茶と地元工房手作りの涼しげな葛饅頭（くずまんじゅう）で一服していただきました。

次いで、三木市文化会館が令和元年度に制作した演劇「三木合戦シリーズ外伝～天下人に仕えた吉川の戦国武将～渡瀬好光伝」のプロモーション動画を全員で鑑賞しました。この作品は、かつて好光が城主だった渡瀬城の跡地に立地している本校がロケ地となり、46回生（令和元年度3年生）が出演、案内役を務めたものです。演目は令和2年3月に上演されるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症が耳目を驚かせ始めた頃であり、お蔵になりました。しかし…、本校の発展的統合が公表されたため、改めて本校と地域の歴史に目を向ける機会になればと、三木市は令和6年3月の公演に向けて参加者を募っている状況です。



生徒にとっては初めて知る史実の連続でしたが、老人会の方々と故郷の歴史に思いを馳せながら画面に見入りました。その後、「もし渡瀬好光が生きていたら、現在何歳でしょう？」というクイズが出されました。老人会の方にスマホ検索を依頼するちゃっかり班、動画から得られた情報で年代を推定する正統派班、他班からの情報収集に努める曲者（くせもの）班など、正解を求めて、それぞれの班で話に花が咲きました。

わずかな時間でしたが、若者と接する機会の減少を残念がっていらっしゃるご高齢の方々に、孫世代の高校生と和やかに触れあっていただく時間を提供できたことを大変うれしく思います。今年度はあと4回、趣向を凝らした交流の場を設ける予定です。



👏 喜び 🎉 感動 🤝 分かち合って 50年!
高 兵庫県立 吉川高等学校

〒673-1129
三木市吉川町渡瀬300-12
Tel 0794-73-0068

